

2019
6

とやま

第54回通常総代会



5月25日(土)午後1時30分
富山市体育文化センター

目次

- ・第54回通常総代会開催 …… 2
- ・新役員決定! …… 3
- ・第54回通常総代会
事前説明会Q & A …… 4
- ・組合長 退任・就任挨拶 …… 5
- ・Topics&News …… 6
- ・わたしたち、実は〇〇なんです! …… 7

6・7月 税務相談日(本店2階)

6/25(火)・7/10(水)・7/25(木)
各 PM1:00~PM3:00

第54回 通常総代会開催

第54回通常総代会が、5月25日(土)午後1時30分から富山市体育文化センターにおいて総代定数500名のうち本人出席338名、議決権行使書81名、計419名の出席にて開催されました。議長に蛭川地区総代田中光男氏を選任後、議事に入り付議議案を慎重に審議いただきました。第1号議案から第12号議案及び特別決議まで賛成多数で可決・承認され、午後4時9分に終了いたしました。



第54回 通常総代会付議議案

第1号議案
 △報告事項1▽
 第53年度事業報告及び剰余金処分案承認の件
 第53年度貸借対照表 損益計算書、注記表及び付属細書の件
 第53年度部門別損益計算書の件
 「JAバンク基本方針」の変更について
 定款一部変更の件
 付帯決議

第2号議案
 △報告事項2▽
 行政庁の指示により字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
 定款変更に伴う監事監査規程一部変更の件
 会計監査人選任の件
 第54年度事業計画設定の件
 但し、経済情勢の変化などにより事業計画の内容を一部修正する必要があるときは、これを理事会に一任する。

第3号議案
第4号議案
第5号議案
第6号議案
第7号議案
 1. 賦課金の総額 2,668,161円
 2. 賦課方法
 (1) 組合員割 200円(1人当り)
 (2) 面積割 100円(10a当り)
 令和元年10月31日までに全額徴収する。
 徴収の最終期日までに納入されないときは、その期日をもってこの組合の貯金口座から振替決済の方法による。
 第54年度における理事の報酬に関する件
 第54年度における理事の報酬は総額20,600千円以内(職員兼務理事の職員部分の給与は含まない)とし、その範囲内における各理事の報酬額並びに支給方法などは理事会に一任する。

第8号議案
 第54年度における監事の報酬は総額5,400千円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額並びに支給方法などは監事の協議に一任する。
 理事の退職慰労金贈呈の件
 理事の退職慰労金は総額7,572千円以内とし、理事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。
 監事の退職慰労金贈呈の件
 監事の退職慰労金は総額4,84千円以内とし、監事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。
 役員全員任期満了につき改選の件

第9号議案
 第54年度における監事の報酬に関する件
 第54年度における監事の報酬は総額5,400千円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額並びに支給方法などは監事の協議に一任する。
 理事の退職慰労金贈呈の件
 理事の退職慰労金は総額7,572千円以内とし、理事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。
 監事の退職慰労金贈呈の件
 監事の退職慰労金は総額4,84千円以内とし、監事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。

第10号議案
 理事の退職慰労金贈呈の件
 理事の退職慰労金は総額7,572千円以内とし、理事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。
 監事の退職慰労金贈呈の件
 監事の退職慰労金は総額4,84千円以内とし、監事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。

第11号議案
 理事の退職慰労金贈呈の件
 理事の退職慰労金は総額7,572千円以内とし、理事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。
 監事の退職慰労金贈呈の件
 監事の退職慰労金は総額4,84千円以内とし、監事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めるところによる。

第12号議案
 役員全員任期満了につき改選の件

組合長挨拶
 本日、通常総代会の開催にあたり総代各位には、何かと多忙の折、ご出席を賜り誠にありがとうございます。
 平素は農協事業に格別のご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼を申し上げます。
 本年5月より新元号「令和」へ改元となり、新しい時代の幕開けの中、社会全体が、希望と期待に満ち溢れ、明るい未来の展望を切に希望するところでもあります。
 おかげをもちまして、本日、ここに第54回通常総代会を開催する運びとなり、第53年度の事業報告並びに第54年度の事業計画と当該年度を初年度とする中期経営3ヶ年計画等、重要議案の多くを上げることが重ねて厚くお礼申し上げます。
 平成30年度の事業展開につきましては、組合員皆様のご理解とご尽力を賜りながら、役員挙げて計画達成に努めてまいりました。

その結果につきましては、事業の改善と経費の節減に取組んだ結果、税引前当期利益は、62,628千円を計上することができ、財務面では、自己資本比率21.64%という健全性を確保することができました。このことは、組合員の皆様の変わらぬご支援の賜物と深く感謝申し上げます。
 さて、農協の経営をめぐる情勢としましては、農業事業者の高齢化と世代交代等により農業者の減少が急速に進んでいます。併せて平成30年産からの米政策の見直しにより、産地間競争がさらに激化しています。
 一方、信用事業では、マイナス金利による利鞘の縮小等により農協を取り巻く経営環境は、厳しい状況が続いています。
 このような経営環境の中、農協の業務執行体制においては、JA自己改革の実践、改正農協法等の対応への取組みに向け、さらなる強化が求められています。さらに、本年度より会計監査人による監査への移行に伴いこれまで以上に経営の効率化、高度な経営管理が必要となります。
 富山市農協としましては、昨年11月に開催された第47回JA富山県大会にて決議した「自己改革の実践による元気な富山県農業の実現」を基軸とし、本年度新たな中期経営3ヶ年計画(令和元年度から令和3年度)を策定いたしました。

当農協の第53年度における重要事項としましては、遊休資産(旧支所土地・建物等)の処分を進めて得た資金を組合員が利用する施設・倉庫等の修繕に積極的に投入したことが挙げられます。今年度は遊休資産売却資金を用いて中部ライスセンターの設備更新を実施する計画であります。
 一方、当農協を含めた富山市内の4農協においては、合併に向けた研究会を発足させ、各課題を洗い出す調査・研究を始めて

いるところであります。いずれにいたしましても、合併による組合員のサービス向上が最重要課題であり、慎重に進めていく所存です。
 今、当農協にとりてとりわけ重要なことは組合員をはじめとする利用者からの評価であり、自己改革の取組み成果に対し「富山市農協はよくやっている」「富山市農協が必要である」といった多くの声をいただけるような実践を「見える化」していくこととあります。JAが組合員から高い評価を獲得するポイントとして、訪問活動などの多様な接点を通じて組合員と「対話」を重ねることの重要性が明らかになっています。役員が自ら出向く態勢を強化し、相談機能を発揮していただくこととすることを考えております。

結びになりますが、これまで以上に役員が一丸となり、厳しい農業情勢の中、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向け挑戦していただくことで組合員はじめ地域の皆様の負託に応えたいと存じます。
 総代各位におかれましては、今まで以上に力強いご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後益々のご繁栄とご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

富山市農協としましては、昨年11月に開催された第47回JA富山県大会にて決議した「自己改革の実践による元気な富山県農業の実現」を基軸とし、本年度新たな中期経営3ヶ年計画(令和元年度から令和3年度)を策定いたしました。

その結果につきましては、事業の改善と経費の節減に取組んだ結果、税引前当期利益は、62,628千円を計上することができ、財務面では、自己資本比率21.64%という健全性を確保することができました。このことは、組合員の皆様の変わらぬご支援の賜物と深く感謝申し上げます。
 さて、農協の経営をめぐる情勢としましては、農業事業者の高齢化と世代交代等により農業者の減少が急速に進んでいます。併せて平成30年産からの米政策の見直しにより、産地間競争がさらに激化しています。
 一方、信用事業では、マイナス金利による利鞘の縮小等により農協を取り巻く経営環境は、厳しい状況が続いています。
 このような経営環境の中、農協の業務執行体制においては、JA自己改革の実践、改正農協法等の対応への取組みに向け、さらなる強化が求められています。さらに、本年度より会計監査人による監査への移行に伴いこれまで以上に経営の効率化、高度な経営管理が必要となります。
 富山市農協としましては、昨年11月に開催された第47回JA富山県大会にて決議した「自己改革の実践による元気な富山県農業の実現」を基軸とし、本年度新たな中期経営3ヶ年計画(令和元年度から令和3年度)を策定いたしました。

新役員決定!!

任期満了による当農協役員選任規程に基づき役員推薦委員会にて理事11名、監事3名を含め計14名の役員が推薦され、5月25日(土)に開催された第54回通常総代会において投票の結果、全理事・監事が信任されました。

なお、総代会終了後に開催された組織役員会にて代表理事組合長に中川俊昭氏、副組合長理事に藤村伸生氏、専務理事に稲田 貢氏、学経理事に高野 諭氏と中野雄一郎氏、代表・常勤監事に角谷良雄氏が就任致しました。

南支店		中央支店	
理事  西野 眞智子	監事  山峯 正明	理事  北野 洋子	監事  中川 伸一
区域選出理事		区域選出理事	
太田地区	新保地区	蛭川地区	堀川地区
理事  稲田 貢	理事  高安 重範	理事  村井 剛	理事  松田 宗和
熊野地区	月岡地区	山室地区	
理事  高安 昇	理事  藤村 伸生	理事  中川 俊昭	
学経理事  高野 諭	学経理事  中野 雄一郎	代表常勤監事  角谷 良雄	

今後ともより一層のご指導と
ご協力をお願い申し上げます。

第54回 通常総代会 事前説明会での質問及び回答

Q1

農産物直売所「まんなか市場」が2周年目を迎えるにあたり、生産者に好評であるとの話を聞きますが、今後、売場面積の拡大に取り組んでいただけませんか。

A

店舗面積が小さいことは、認識していますが、季節によっては農産物の品揃えが十分でない時期もあり、運営コストの低減等課題も残しています。しかし、将来の展望を考え、店舗拡大の検討については、次期執行部に引き継ぎたいと考えます。

Q3

組合員の減少傾向が目立ち、心配です。どのような理由によるのでしょうか。

A

組合員の減少につきましては、危惧しており、会社を定年退職した方が担い手とならず離農し、農地を委託したり、県外に生活拠点が有り、戻れない等の理由が顕著です。いずれにしろ正組合員の減少に歯止めをかけるよう取り組む所存です。

Q5

担い手育成・支援は、重要であります。人・農地プランの充実と活用及び農地集約・集積についてJA富山市の見解をお聞きたい。

A

担い手育成の一つとして親元就農を支援したいと考えています。認定農業者数も決して多い状況ではないので、県・市と共に相談・アドバイスに努めていく所存です。また、農地においては、遊休地の解消として備蓄米・加工用米への取組みを支援したいと考えています。いずれにしましても人・農地プランの作成・実践を行政と共に推進していく方針です。

Q7

JA富山市が有する施設等の有効活用を積極的に展開していただきたい。例えば、ライスセンターにおける籾殻の再利用や休止期間中の育苗センターの活用を考えてもらいたい。

A

籾殻においては、畜産・園芸農家にご利用いただいておりますが、余剰状態となっています。今後、他のJAの利活用方法も参考にし、有効活用について検討してまいります。

Q9

固定資産処分の動きは、今後もあるのでしょうか。

A

現在、旧蜷川支所の駐車場用地を売却する方向で進んでいますが、それ以外は、具体的な計画はありません。

Q2

学経理事候補者を2名（1名増）とする経緯をお聞きたい。

A

優秀な若い職員が頑張れば役員として経営に参画できる機会を増やすことで職員のモチベーション向上に繋がると考え、1名増と致しました。

Q4

固定資産の売却益が大きいと感ずます。馴染みのある施設が無くなるのは寂しく、売却以外の利活用もあるのではないのでしょうか。

A

遊休不動産が放置されている時期があり、県や中央会より指導を受けていましたので、売却を進めました。また、店舗統廃合により不要となった旧支所を売却した資金を用いて農業倉庫や機械・燃料センターの屋根塗装工事を実施させていただきました。本年度は、中部ライスセンターの設備を入替する計画です。いずれにしろ、固定資産の売却資金を有効活用する方針です。

Q6

信用事業が厳しい中、営農事業を伸ばす必要性があります。そのような中で営農改善に関わる予算が年々、減少しているように感じられます。

A

営農改善に関連する予算は、昨年同様、30百万円を超える計画を立てましたが、実績としては20百万円程度で推移しています。従いまして、皆様方にご利用いただけるようPR・推進を図りたいと考えています。

Q8

これまで出資配当金を出資金に振替処理していますが、いつまで、このような方法を続けるのか考えをお聞かせ願いたい。なお、配当金を出資金に振替処理するにあたり、富山市内4JA合併に何かしら影響はあるのでしょうか。

A

富山市内の他の3JAは、出資配当金を出資金に振替処理していません。次回の総代会にて、配当金として処理するよう付議議案として上程できないか次期執行部に検討するよう引き継ぐ予定です。

Q10

今年度より監査法人を会計監査人として選任するにあたり、監査費用が膨らむと想定されますが、どの程度になるのかお聞かせ願いたい。

A

これまでの中央会における監査費用を相当上回る金額となります。監査法人への監査報酬費用として約9百万円を計画しています。



新組合長ぶいあつち



中川 俊昭

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
新元号「令和」へ改元となり、新しい時代の幕開けの中

私ごと

令和元年5月25日開催の第54回通常総代会終了後の組織役員会におきまして、代表理事組合長に選任され就任いたしました。浅学非才ではありますが、全力をあげて職務に邁進する所存でありますので、皆様方のご指導、ご支援を心からお願ひ申し上げます。

また、今回の役員改選は、当農協においては改正農協法が施行されて初めてのことであり、「認定農業者」や「女性理事」の選任も行われ、今までよりも多様な意見を踏まえた意思決定が期待されるところでもあります。

さて、農協の事業環境や事業基盤は大きく変化する中で、全国的には急速に「1県1農協」や「県域農協」への大型合併を実施・構想または研究・検討している県域が数多くなっているようです。また、店舗統合や再編を目指す農協も多くなると予想されます。このような中、当農協を含めた富山市内の4農協（あおば農協、なのはな農協、富山市農協、山田村農協）においては、合併についての「研究会」に参加し、各事業単位の課題の洗い出す調査・研究を始めているところですが、いずれにしても、わが富山市農協も「新しい時代の変化に対応した農協の体制作り」が急務であり、慎重かつスピード感を持って対応することが肝要かと思えます。

そして、役員員一人一人の意識改革および各事業の機能を強化し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」のために全力を尽くします。また、組合員をはじめ地域の皆様に必要とされる組織づくり、地域の「農業と暮らし」になくはならない組織を目指し、これからも「自己改革」に地道に取り組みでまいりますので、今後とも、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



前組合長ぶいあつち



田村 長章

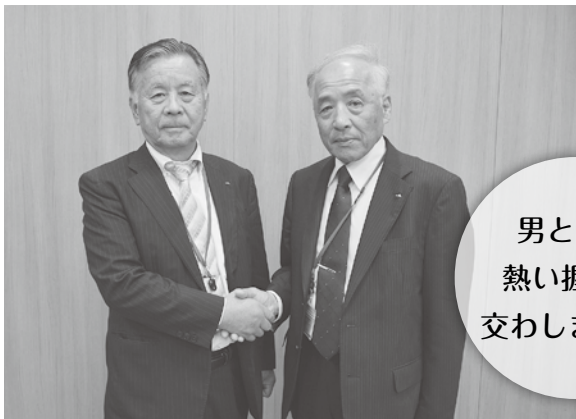
この度、5月25日の第54回通常総代会をもちまして富山市農業協同組合代表理事組合長を退任致しました。

在任中は大過なく職務を全うできましたのも組合員皆様の温かいご指導ご鞭撻のおかげと厚く感謝申し上げます。

さて、平成21年5月より富山市農協の役員として微力ながら富山市農協の発展に尽くしてまいりました。なかでも平成28年11月に7支所を2支所に再編・統合し、新たに本店・南支店及び中央支店を新築できましたことは、組合員の皆様のご理解、ご協力の賜物と深く感謝しております。また、平成29年6月には、念願の農産物直売所「まんなか市場」をオープンさせることができましたのも同様であり、感慨深いものがあります。

当農協をとりまく環境は、依然厳しいものがあり、継続したJA自己改革を進めていかなければなりません。

組合員の皆様には、新役員体制移行後も従前同様変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げますと共に皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますご挨拶とさせていただきます。



男と男の
熱い握手を
交わしました。

左から、前 田村組合長と 新 中川組合長

令和元年度 第1回

親子で農業体験開催

5月11日(土)、富山市農協種子センター及び種子センター横圃場にて、「第1回親子で農業体験」を開催しました。この企画は今年が初の試みとなります。実際に農産物の定植や収穫等の農業体験を通して、未来を担う子どもたちの「食」「農」への関心を高めるとともに、地域理解へと繋げていきたいという気持ちから企画しました。蜷川・堀川・山室地区を中心に21組64名の親子の皆さまにご応募いただき、年間通して全5回の食育体験活動を実施します。



第1回は天候にも恵まれ、泥んこ田植え体験と称してゆっだい21の苗の手植えや自動田植え機での田植え作業を体験しました。田植え終了後には、ゆっだい21とコシヒカリの食べ比べを行い、「ゆっだい21がおいしいー!」という声が多く聞かれました。そのほかにもAコープ商品等をふるまい、大賑わいで第1回を終了することができました。

令和元年度 第1回

とやまのゆるる活講座開催

5月22日(水)、令和元年度第1回「とやまのゆるる活講座」を開講しました。地域の皆さまに「JA富山市をもっと身近に感じていただきたい」と始めたこの講座も、今年で3年目を迎えます。



第1回は、アピアスポーツクラブよりジムトレーナーの銅 幸一郎さんを講師としてお招きし、「貯筋体操教室」を行いました。家庭でも普段の生活の中で取り入れることができる簡単な体操やトレーニングを教えていただき、あまり知られていない身体の構造や、食べ物と身体の関係性など、ユーモアあふれるお話で笑顔の絶えない講座となりました。

「とやまのゆるる活」講座は、年間通しの連続講座で、今年度は全6回の講座を開催する予定です。

NEWS ニュース

7月6日(土)、7日(日)の2日間にかけて、富山産業展示館(テクノホール)にて、「第37回農業機械総合大展示会 農機フェア2019」が開催されます。JA富山市では、農家の方を応援する「農機具資金」をご用意しておりますので、詳しくはJA富山市南支店・中央支店のほうへ、お気軽にお問合せください。

農業の夢、応援します!

農機具資金

JAバンク
新キャラクター
「よじぞう」

利子補給適用で
**農業者
応援金利** (変動)

100万円以上の借入で、借入日から
3年間 1.00%のJAバンク利子補給
が適用されます。

農優遇金利(3年間)

0.8%

年 (保証料別途)

当JAでの購入の方は
さらに保証料全額助成!!

基準金利(新変動金利型)年2.3%

軽減項目

- ① 当JAから農業用機械・設備等を購入される場合、年0.5%軽減 → 1.8%
- ② 100万円以上3年以上の借入で、3年間は年1.0%の利子補給 → 0.8%

富山市
南支店：428-1122 中央支店：425-2888

新時代の幕開け、
日本のスマート農業。

第37回 農業機械総合大展示会

農機フェア2019

開催日 **7/6(土) 7/7(日)** 9:00~16:00
会場 **富山産業展示館**
(テクノホール) 富山県富山市

7/6(土)
11:30~
14:30~
コンプレッサー

7/7(日)
11:30~
14:30~
アムシ

7/7(日)
11:30~
14:30~
アムシ

※小中学生以下専用 スタンドフリー! ※2019年7月6日(土) 7月7日(日) 11:30~14:30 富山県富山市テクノホール 富山産業展示館

※F1000 富山県富山市テクノホール 富山産業展示館

小型農機から大型農機まで一堂に展示

JAグループ・JA全農とやま

わたしたち、実は〇〇なんです!

～ わたしたち、ニューフェイスなんです。～

出会いの春。JA富山市にも4月から新たに6名の新規採用職員が入組し、約3か月が経ちます。これから農協職員として活躍していくにあたり、“今年の漢字”と“意気込み”を聞きました。



営農販売課 営農係
村上 直希

忙しい毎日ですが、わからないことは質問できる居心地の良い環境のなかで、業務に取り組むことができます。入組して、自分が話すことよりも、人の言葉に耳を傾けて“聴”くことのほうが大切だと感じたので、組合員の方や職員の言葉を積極的に聴き、信頼される存在になっていきたいです。



農機自動車課 農機係
山本 雄偉

学生時代には自動車整備について学んできましたが、入組して農機係に配属され、自動車とは違った農機具の面白さを感じています。繁忙期には休日出勤もありますが、「人と話すこと・機械に触れること」など、好きなことに囲まれ、楽しく充実した毎日です。まだまだ学ぶことがあるので、日々“学”び、組合員の方から頼られ、親しまれる存在になりたいです。



南支店 金融窓口係
奥田 紗月

お金にかかわる責任の大きな業務ですが、なんでも聞ける優しい先輩職員に囲まれて業務を進めることができます。今年は、組合員の方や地域の方の顔・名前、仕事の業務内容など、さまざまなことを“覚”える1年にしていきたいです。「あなたがいて良かった。」と思ってもらえるような職員になれるように頑張ります。



南支店 共済窓口係
藤井 舞

共済窓口係に配属され、覚えることの多さに驚きと不安を感じましたが、「頑張れ」という多くの方からの言葉に勇気づけられています。これからも1日1日を大切に、日“進”月歩、成長していけるように頑張ります。組合員の方とも職員とも信頼関係を築き、はやく仕事を任せてもらえるようになります。



中央支店 金融窓口係
磐田 紗蘭

明るく元気な支店の雰囲気のおかげで、毎日楽しく過ごすことができます。まだまだ窓口業務には慣れていませんが、誰からも“信”頼される職員になれるように頑張ります。そのためにも、笑顔と挨拶を大切に、組合員の方、地域の方、そして先輩職員と積極的にかわり、信頼関係を築いていきたいです。



中央支店 共済窓口係
中田 実花

同世代の先輩職員が多い中央支店は、親しみやすく居心地の良い環境で毎日が楽しいです。入組してみて、農協は地域とのつながりが強いということを感じました。共済業務は難しくこれからの不安はありますが、組合員の方、地域の方とのつながりを大切に、なにごとにも“前”向きに取り組んでいきたいです。



組合員の皆さま、地域の皆さま、
ご指導・ご鞭撻の程よろしく
お願い申し上げます。

理事会だより

第1回定例理事会次第

と き 平成31年3月28日(木)
午後1時30分
ところ 本店会議室

協議事項

- 1) 定款の一部変更について
- 2) 余裕金運用規程の一部変更について
- 3) リスク管理積立金規程の一部改正について
- 4) 第54回通常総代会及び事前説明会開催について
- 5) 第54回通常総代会付議議案(案)について
- 6) 信用事業運営体制のあり方検討のとりまとめについて
- 7) 第54年度事業計画設定(案)について
- 8) 中期経営3ヶ年計画(案)について
- 9) 南ジェイエーとやまサービス決算及び事業計画について
- 10) 第54年度における余裕金の運用について
- 11) 第54年度における同一人に対する信用供与の最高限度額決定について
- 12) 第54年度借入金の最高限度額決定について
- 13) 経済事業にかかる理事との契約について
- 14) 特定事業者作成書面(リスク評価書)の改正について
- 15) 常西用水土地改良区への貸付けについて

- 16) ローン融資要項の一部改正について
- 17) 固定資産取得(リース契約含む)について
 - ① 中部RC湿式集塵装置更新について
 - ② LPガスメータ及び調整器の更新について
 - ③ 車輻管理システムの更新について
- 18) 平成31年度富山市農協大農業祭実施(案)について
- 19) 労働組合要求について
- 20) 役員候補者(学経理事・員外監事)の推薦について

第2回定例理事会次第

と き 平成31年4月25日(木)
午後1時30分
ところ 本店会議室

協議事項

- 1) 平成30年度決算について
- 2) 自己資本比率について
- 3) 第54回通常総代会議長並びに開票立会人の選任について
- 4) 第54回通常総代会特別決議(案)について
- 5) 会計監査人の報酬等について
- 6) 事務リスク管理規程の一部変更について
- 7) 米穀共同計算基本要領の制定について
- 8) 令和元年産米出荷契約金の資金対応(案)について

職員人事異動

左記のとおり職員人事をおこないましたのでご案内申し上げます。

退職(平成三十一年三月三十一日付)

区分	氏名	旧任	新任
定年退職	川上 春男	営農経済部 農機自動車課 課長	
定年退職	大沢 正	営農経済部 営農販売課	
臨時職員 嘱託	松原 光雄	臨時職員 嘱託	
臨時職員契約期間満了	赤根 文喜 一郎	南支店 支店長	臨時職員 嘱託
臨時職員契約期間満了	中田 俊美	臨時職員 嘱託	臨時職員 嘱託

職員人事(平成三十一年四月一日付)

新 任	氏名	旧 任
企画総務部 部長	高谷 重昭	企画総務部 部長
(兼) 監査室 室長	高谷 重昭	企画総務部 部長
南支店 支店長	蟻川 正彦	中央支店 支店長
中央支店 支店長	田近 智久	南支店 副支店長
営農経済部 課長	和田 弥生	営農経済部 課長
営農経済部 課長	島田 哲也	(兼) 物流センター長
農機自動車課 課長	中坪 和枝	南支店 副支店長
中央支店 副支店長	前田 一美	中央支店 副支店長
営農経済部 購買課 旅行センター長	清水 崇	購買課 旅行センター長
(兼) 旅行センター長	清水 崇	購買課 旅行センター長
営農経済部 農機自動車課 課長(農機)	林 博之	営農経済部 農機自動車課 課長(農機)
支店長代理 共済担当	安守 孝夫	中央支店 支店長代理 共済担当
南支店 支店長代理	武川 直樹	南支店 支店長代理
(兼) 営農経済部 営農係 係長	武川 直樹	営農係 係長
営農販売課 種子係 係長	松井 成宏	種子担当
中央支店 支店長代理 共済担当	松井 成宏	南支店 支店長代理 共済担当
支店長代理 共済担当	竹内 重成	営農経済部 営農販売課
営農経済部 営農販売課	渡辺 里香	南支店 金融渉外係 係長(年金担当)
金融渉外係 係長	渡辺 里香	南支店 金融渉外係 係長
南支店 係長	中谷 智子	中央支店 経済窓口係 係長

退職(平成三十一年四月三十日付)

区分	氏名	旧任	新任
依願退職	松瀬 勇斗	営農経済部 農機自動車課	

新規採用(令和元年五月一日付)

新 任	氏名
臨時職員 農機自動車課	白取 直哉

退職(令和元年五月三十一日付)

区分	氏名	旧任	新任
依願退職	前 友樹	営農経済部 購買課 燃料センター	

職員人事(令和元年六月一日付)

新 任	氏名	旧 任
中央支店 金融窓口係	香城 彩音	南支店 金融窓口係
南支店 金融窓口係	木村 美幸	中央支店 金融窓口係
臨時職員 嘱託	高木 政長	臨時職員 嘱託
監査室	高木 政長	企画総務部 総務課

新規採用(令和元年六月一日付)

新 任	氏名
臨時職員 農機自動車課	高田 巧

